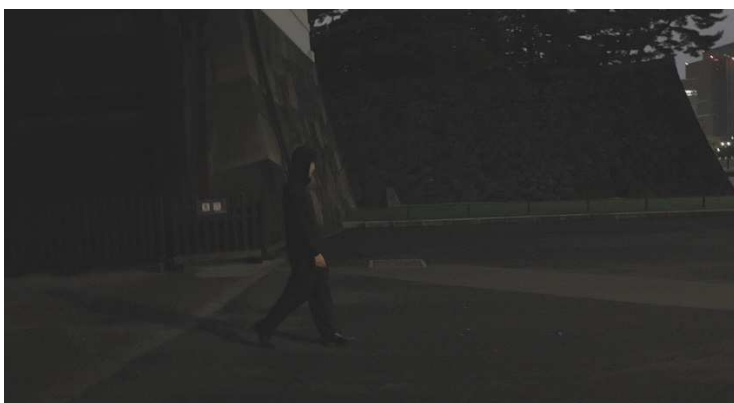


撮影に臨むにあたり、Canon Log の撮影でダイナミックレンジの確保を行い、そのあと全編を通して撮影されたクリップに対して全て AfterEffects 上で LUT を適用し、色味の調整を行っている。また、一部クリップに対しては炎や月の素材を用いてコンポジット作業を行った。

例えば、0:19～0:22 のシーンでは編集前の素材が以下だ。



これに LUT を適用し、炎の素材を入れたものが以下になる。



赤い長方形をソフトライトで合成し、



炎の色をスクリーン合成で調整し、



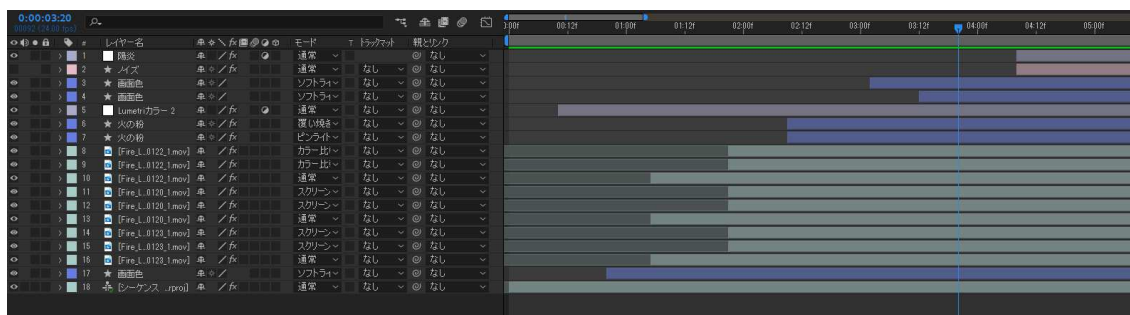
CC Particle World で火の粉を追加し、



最後にタービュレントディスプレイスで陽炎を再現した。



このように 1 シーンにつき①素材②合成用長方形③調整レイヤー、最低 3 レイヤー以上のレイヤーを使い、映像美を追求した。結果的に以下のレイヤー構造になった。



そのほか、モーショングラフィックスによるコラージュアートの制作などを AfterEffects で行い、背景から人物を切り抜く作業などに Photoshop を使用した。